

メールマガジン 2024年5月

教会暦に従って、イエス様のご降誕から聖霊降臨祭まで歩いて参りました。教会の皆さまとイエス様の足跡を辿っている内に、5カ月が瞬間に過ぎたように思います。気がついたら一年の前半を終えようとしています、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

ドイツでは聖霊降臨祭の翌日は、「Pfingstmontag・聖霊降臨祭の月曜日」と呼ばれ、祝日となっています。そしてこの時期に欠かせないものが二つあります。一つ目は、「Pfingstrose・聖霊降臨のバラ」という意味の「芍薬・シャクヤク」と、「Spagel・ホワイトアスパラガス」が挙げられます。これが市場に登場するのは、毎年5月頃から6月24日迄の期間限定なので、私も含めて大勢の方は、この時ぞとばかりに春の到来を味わいます。聖霊降臨祭の愛餐会では、教会の方が持ってきてくださり、皆さまと美味しく頂きました。

さて、教会の様子を少し。現在、奏楽の奉仕者は3名おられますが、其々のご事情で毎週教会に来ることは難しいので、三人でうまく調整をしています。しかし、その内のお一人が8月には日本に本帰国の為に、今後、奏楽者不在の場合もあり得るので、最近ではヒムプレーヤー(携帯型賛美歌自動演奏機)を全員の方が操作できるように練習をしています。私が「説明書を読みながらお一人で操作してください!」と呼びかけると「先生に冷たくされた〜」とか、「私は高齢者ですから・・・」等、一旦は悲鳴を上げますが、覚悟を決めてチャレンジされると完璧に使いこなしておられ頼もしい限りです。

私は5月12日、フランクフルト教会に招かれて説教のご用をさせて頂きました。牧師不在となったケルンでの礼拝は、フランクフルト教会のzoomに参加しました。コロナ禍以降、このような形式が多く用いられています。特に欧州の日本語教会は、常駐の日本人牧師が年々減少しているので、臨機応変に取捨選択が必要不可欠な時代を迎えているように思うこの頃です。

日本の皆さまの上に聖霊なる神様の力が豊かに注がれますようにお祈り申し上げます。

<お知らせ> 教会の月報が発行されています。ホームページからご覧になれますので、よろしかったら一読頂けたら幸いです。 <http://koelnbonn.jp/>

「支える会」のホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。 <https://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html>

お借りしているボンヘッファー教会
緑豊かな公園のすぐ向かい側にあります。

道路には案内板



ペンテコステローズ=シャクヤク

愛餐会で頂いたホワイトアスパラガス
ハムに巻かれたアスパラガスの上にソースがかかっています。手間暇かけて作っていただきました。

